

江戸しぐさは心のマナー

～「江戸しぐさ」から学ぼう相手への心配り～

校種・学年		中学校・全学年			教科等	道徳
カテゴリー	歴史・意義	アスリート	多様性	日本人	時間・学期等	1時間
	国際感覚	ボランティア	伝統・文化	(その他)	準備等	挿絵・ワークシート

1 プログラムのねらい

- 「江戸しぐさ」の根底にある「相手への心配り」ができる生徒を育てる。
- 現代にも受け継がれているこの文化が、世界的にも高く評価されていることを知り、自国の文化を誇りに思う気持ちを育む。

2 プログラムと既存の学習との関わり

- 「江戸しぐさ」の基になっている心が、相手を思いやる心であることに気付かせることが目的だが、さらに現代にも受け継がれているこのような文化が、世界からも高く評価されていることを学ぶことで、日本の文化を誇りに思い、継承することへの意欲をもたせることができる。また、東京2020オリンピックにおいての「おもてなしの心」を育てることにもつながる。

3 指導計画（1時間扱い）

時間	主な学習活動・内容等
1	江戸しぐさは心のマナー ～「江戸しぐさ」から学ぼう相手への心配り～

4 本時の学習指導（本時 1 / 1）

時間	学習活動	支援・留意点等
	<ul style="list-style-type: none"> ○江戸時代の様子を知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・現在よりもずっと人口密度が高く、共同で使うものも多いこと。 ・トラブルは少なかったこと。 ○なぜ、トラブルが少なかったのか何枚かの挿絵を提示し、考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・「傘かしげ」「肩引き」「こぶし腰浮かせ」「七三歩き」「うかつ謝り」など ○自分の日常の生活の中にも同様な行動がないか考える。 ○「江戸しぐさ」の根底にあるものを考える。 ○世界から日本人のこの行動（文化）は、どのように見られているのかを知る。 ○海外から評価されていることに対して自分の感想をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで考える。 ・実演を入れてもよい。

5 おすすめのポイント（さらに、効果アップ!）

- 人権旬間における全校生徒に向けた講話として行うことによって、相手への心配りを中心とした思いやりの行動も全校で共通理解が図られるとともに、人権教育の推進につながる。